

2月28日提出 八地申第5号

乗務員配属箇所における事務業務の 集約化に関する申し入れ 提出！！

会社より2023年12月22日に「乗務員配属箇所における事務業務の集約化」の提案を受けました。鉄道事業者として利用されるお客さまが施策実施でご不便を感じないよう、鉄道安全・労働安全を第一としたサービスの提供が出来るようにしなければなりません。鉄道安全・労働安全を下支えする事務業務の使命は変わりません。その事務業務で働く社員が安心して働き、技術継承・技能伝承できる事務業務体制を創り上げなければ鉄道の根本が揺らぎかねません。私たちは安全レベルの向上のため現場第一線で鉄道輸送を創り出してきています。八王子地本は、安全・健康・ゆとり・働きがいの持てる職場、事務で働く組合員が安心感や納得感をもって施策に向き合い、働きがいと魅力ある JR 東日本会社をつくるために下記の通り申し入れました。

申し入れ項目

1. 他支社でも行われている事務業務の集約化の成果と課題を明らかにすること。
2. 立川統括センターに設置される執務スペースには社員の意見を取り入れた環境を整えること。
3. 事務業務は入力業務以外の業務も多々あることから、統括センターの乗務員配属箇所に現状の出面数を配置すること。
4. 施策において転勤が発生する際は、体調や家庭の事情を考慮し、本人希望に基づいて双方向コミュニケーションを取り行うこと。
5. 施策実施後は労使が検証を行い、問題等が生じた際は労使協議すること。

今、安全で働きがいのある職場現実でしょうか？

技術・技能継承がしっかり行える

事務職場をつくりだそう！

